



お茶の水の子



www10.sc
index.php?id
schoolweb.ne
!s/ems/df

No.1

令和6年4月8日

千代田区立お茶の水小学校
校長 伊藤 栄司

新校舎での学びが始まります

校長 伊藤 栄司

錦華通り沿いに植えられた桜の大木が、新校舎に通う子どもたちを迎えるかのように美しく咲き誇っています。4年半に及ぶ工事期間中は、別の場所に移植され大切に守られてきました。これからは、周囲に植えられた若木と共に毎年、美しい花を咲かせてくれるでしょう。

さて、新たに元気いっぱい79名の一年生を迎え、新校舎での学校生活がスタートしました。令和6年度お茶の水小学校の教育活動の始まりです。入学・進級を祝うとともに、新しい校舎で全校児童が一段と伸びる指導を実現する一年といたします。

【願いの実現】

子どもたちにとって、教職員・保護者・地域・同窓会にとって待ちに待った新校舎が完成しました。錦華・小川・西神田小学校が一つになり、お茶の水小学校が誕生した31年前の記録には、校舎の全面改築が3校を一つにするための最低条件として書かれています。長い年月がかかってしまいましたが、旧3校の同窓生の皆様の悲願が新校舎の完成と共に実現されました。また、資料には、「新しいお茶の水小学校を日本一の小学校にしてほしい」と熱い気持ちも残されています。

【新校舎の特徴】

新校舎は地上6階、地下2階の免震構造で設計され、地震や災害に強い構造になっています。また、中圧ガス※を採用するとともに8000リットルのオイルタンクにより非常時の発電を安定的にバックアップできる等、子どもたちが安心、安全に学習するとともに非常時には避難所として活用できる工夫が施されています。

また、太陽光発電や雨水利用、屋上緑化、全館LED照明の採用などSDGsにも配慮したつくりになっているので、学校づくりを調べるだけで、環境について学ぶことができます。さらに、各教室・専科教室等には可動式の電子黒板が設置されタブレット型端末機を使った学習にも十分対応できるようになっています。

【子どもたちの学びに活かす】

素晴らしい校舎で学べる機会を与えていただいた千代田区の皆様に感謝申し上げるとともに、新しい校舎に恥じない、日本一質の高い教育を行うことで地域、同窓会の皆様の期待に応えていきたいと考えています。

教育目標は引き続き「明るく 強く たくましく 思いやりをもって 未来を創る人」です。明るくのA、強く・たくましくのT、思いやりのO、未来のMの頭文字をとってATOMになっていて、アニメ鉄腕アトムが通っていたお茶の水小学校にちなんで数年前からこの目標を掲げています。ATOMには、「核」＝「中心」の意味もあり、地域の中心になれるよう力を尽くします。そして、「挨拶・返事・言葉遣い」等の人としての基本的な立ち居振る舞いを大切にするとともに、学力向上だけでなく、芸術、文化、スポーツ等、様々な面で活躍できる子どもを育成していきます。今年度も本校の教育活動に、ご理解・ご協力をよろしく願います。

※中圧ガス:製造所から高圧で送りだされた都市ガスを整圧器で中圧に減圧し、大規模工場・施設に届けられるガスのこと。

家庭用にはさらに減圧された低圧ガスが運ばれます。